

## II 業種別鉱工業生産及び生産者製品在庫の動き (表3、表4)

### 1. 鉄鋼業

5年の県内鉄鋼業の生産指数は82.1で、対前年比△6.9%と減少した。これは可鍛鉄、鉄鉄物等が減少したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期は85.5(対前期比1.3%減)、4～6月期は84.7(同0.9%減)、7～9月期は80.0(同5.5%減)、10～12月期は77.9(同2.7%減)とそれぞれ減少した。

一方、在庫指数の年平均は93.3で、対前年比6.1%と増加した。これを四半期別にみると、1～3月期は93.1(対前期比1.6%増)、4～6月期は89.4(同3.9%減)、7～9月期は92.4(同3.3%増)、10～12月期は98.6(同6.7%増)と一時期減少したが、再び増加した。

### 2. 非鉄金属工業

5年の県内非鉄金属工業の生産指数は105.6で、対前年比0.1%と増加した。四半期別に推移をみると、1～3月期は113.1(対前期比6.2%増)、4～6月期は106.0(同6.3%減)、7～9月期は101.4(同4.3%減)、10～12月期105.0(同3.5%増)と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は180.1で、対前年比17.3%と増加した。これを四半期別にみると、1～3月期は186.4(対前期比12.5%増)、4～6月期は175.9(同5.6%減)、7～9月期は189.0(同7.5%増)、10～12月期は171.7(同9.1%減)と増減を繰り返した。

### 3. 金属製品工業

5年の県内金属製品工業の生産指数は103.9で、対前年比8.6%と増加した。これは、アルミニウムサッシ・アルミニウムドア等が増加したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期は119.4(対前期比30.9%増)、4～6月期は91.9(同23.0%減)、7～9月期107.6(同17.2%増)、10～12月期は94.5(同12.2%減)と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は180.6で、対前年比15.2%と増加した。これを四半期別にみると、1～3月期は184.6(対前期比3.7%減)、4～6月期は187.6(同1.7%増)、7～9月期は169.0(同9.9%減)、10～12月期は179.9(同6.4%増)と増減を繰り返した。

### 4. 機械工業

5年の県内機械工業の生産指数は、85.5で対前年比△4.3%と減少した。また、在庫指数は、93.2で対前年比18.6%増加した。

#### 4-1 一般機械工業

5年の県内一般機械工業の生産指数は82.9で、対前年比△3.7%減少した。これは、金型・油圧機等が減少したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期は86.2(対前期比1.9%減)、4～6月期は82.1(同4.8%減)、7～9月期は83.0(同1.1%増)、10～12月期は80.5(同3.0%減)と一時期増加したが、再び減少した。

一方、在庫指数の年平均は94.3で、対前年比11.2%と増加した。これを四半期別にみると、1～3月期は86.9(対前期比19.6%増)、4～6月期114.7(同32.0%増)と2期連続増加し、7～9月期は99.7(同13.1%減)、10～12月期は82.6(同17.1%減)と2期連続減少した。

#### 4-2 電気機械工業

5年の県内電気機械工業の生産指数は80.2で、対前年比△5.2%と減少した。これは、配線器具等が減少したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期は84.3(対前期比3.8%増)、4～6月期は81.5(同3.3%減)、7～9月期は79.7(同2.2%減)、10～12月期は76.4(同4.1%減)と3期連続減少した。

一方、在庫指数の年平均は73.4で、対前年比4.6%と増加した。これを四半期別にみると、1～3月期は70.4(対前期比14.8%増)、4～6月期は76.3(同8.5%増)、7～9月期は67.2(同12.0%減)、10～12月期は79.1(

同17.8%増)と一時期減少したが、再び増加した。

#### 4-3 輸送機械工業

5年の県内輸送機械工業の生産指数は89.9で、対前年比△4.1%と減少した。四半期別に推移をみると、1~3月期は100.2(対前期比5.7%増)、4~6月期は85.4(同14.8%減)、7~9月期は94.9(同11.1%増)、10~12月期は79.9(同15.8%減)と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は107.1で、対前年比33.4%と増加した。これを四半期別にみると、1~3月期は77.7(対前期比25.9%増)、4~6月期は112.2(同44.4%増)、7~9月期は109.8(同2.1%減)、10~12月期は123.3(同12.3%増)と一時期減少したが、再び増加した。

#### 5. 窯業・土石製品工業

5年の県内窯業・土石製品工業の生産指数は83.8で、対前年比△3.5%と減少した。これは、みかき板ガラス等が減少したためである。四半期別に推移をみると、1~3月期は89.1(対前期比7.7%増)、4~6月期は83.6(同6.1%減)、7~9月期は85.6(同2.3%増)、10~12月期は78.1(同8.7%減)と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は86.4で、対前年比△10.6%と減少した。これを四半期別にみると、1~3月期は88.0(対前期比9.2%減)、4~6月期は86.0(同2.3%減)、7~9月期は85.2(同0.9%減)と3期連続減少し、10~12月期は90.0(同5.6%増)と増加した。

#### 6. 化学工業

5年の県内化学工業の生産指数は91.6で、対前年比△2.4%と3年連続して減少した。これは、合成ゴム等が増加したためである。四半期別に推移をみると、1~3月期は91.2(対前期比1.1%減)、4~6月期は92.5(同1.5%増)、7~9月期は91.9(同0.7%減)、10~12月期は89.0(同3.1%減)と減少した。

一方、在庫指数の年平均は109.9で、対前年比△5.5%と減少した。これを四半期別にみると、1~3月期は111.0(対前期比5.4%減)、4~6月期は107.5(同3.2%減)と2期連続減少し、7~9月期は108.4(同0.9%減)、10~12月期は111.9(同3.2%増)と2期連続増加した。

#### 7. 石油・石炭製品工業

5年の県内石油・石炭製品工業の生産指数は112.8で、対前年比3.7%と増加した。これは、軽油・揮発油等が増加したためである。四半期別に推移をみると、1~3月期は114.5(対前期比13.9%増)、4~6月期は113.4(同0.9%減)、7~9月期は111.6(同1.6%減)、10~12月期は112.2(同0.5%増)と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は97.3で、対前年比△5.5%と減少した。これを四半期別にみると、1~3月期は102.8(対前期比4.8%増)、4~6月期は99.4(同3.4%減)、7~9月期は96.4(同3.0%減)、10~12月期は93.2(同3.4%減)と3期連続減少した。

#### 8. プラスチック製品工業

5年の県内プラスチック製品工業の生産指数は103.0で、対前年比5.1%と増加した。これは、機械器具部品等が増加したためである。四半期別に推移をみると、1~3月期は94.8(対前期比3.1%減)、4~6月期は102.2(同7.7%増)、7~9月期は107.6(同5.4%増)、10~12月期は107.9(同0.2%増)と3期連続増加した。

一方、在庫指数の年平均は127.5で、対前年比△2.5%と減少した。これを四半期別にみると、1~3月期は124.4(対前期比14.5%減)、4~6月期は129.0(同3.7%増)、7~9月期は130.1(同0.9%減)、10~12月期は126.7(同2.6%減)と一時増加したが、再び減少した。

### 9. パルプ・紙・紙加工品工業

5年の県内パルプ・紙・紙加工品工業の生産指数は98.4で、対前年比0.5%と増加した。四半期別に推移をみると、1～3月期は97.0（対前期比2.8%減）、4～6月期は97.4（同0.4%増）、7～9月期は98.5（同1.1%増）、10～12月期は100.0（同1.5%増）と3期連続増加した。

一方、在庫指数の年平均は99.6で、対前年比5.1%と増加した。これを四半期別にみると、1～3月期は98.2（対前期比2.6%増）と減少し、4～6月期は97.8（同0.4%減）、7～9月期は100.9（同3.1%増）、10～12月期は103.4（同2.5%増）と一時期減少したが、再び増加した。

### 10. 繊維工業

5年の県内繊維工業の生産指数は91.3で、対前年比△9.8%と減少した。これは、漁網、毛糸等が減少したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期は91.5（対前期比4.0%減）、4～6月期は92.5（同1.0%増）、7～9月期は92.7（同0.3%増）、10～12月期は88.7（同4.3%減）と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は107.1で、対前年比5.6%と増加した。これを四半期別にみると、1～3月期は107.4（対前期比4.2%増）、4～6月期は104.9（同2.4%減）、7～9月期は110.8（同5.7%増）、10～12月期は105.6（同4.7%減）と増減を繰り返した。

### 11. 食料品工業

5年の県内食料品工業の生産指数は100.4で、対前年比0.6%と増加した。四半期別に推移をみると、1～3月期は97.5（対前期比0.3%減）、4～6月期は100.7（同3.3%減）、7～9月期は100.2（同0.4%減）と3期連続減少し、10～12月期は101.5（同1.3%増）と増加した。

一方、在庫指数の年平均は116.6で、対前年比△11.1%と減少した。これを四半期別にみると、1～3月期は113.7（対前期比2.1%減）、4～6月期は117.4（同3.3%増）、7～9月期は117.8（同0.4%増）、10月～12月期は117.7（同0.1%減）と増減を繰り返した。

### 12. その他工業

5年の県内その他工業の生産指数は99.7で、対前年比△6.3%と減少した。各業種の対前年比をみると、ゴム製品工業△8.3%、家具工業△25.2%、木材・木製品工業0.9%、その他製品工業1.1%であった。四半期別に推移をみると、1～3月期は106.6（対前期比1.4%増）、4～6月期は102.8（同3.8%減）、7～9月期は102.5（同0.3%減）、10～12月期は100.0（同2.5%減）と3期連続減少した。

一方、在庫指数の年平均は98.3で、対前年比△3.9%と減少した。各業種の対前年比をみると、ゴム製品工業△7.2%、家具工業△22.2%、木材・木製品工業△11.2%とそれぞれ減少した。これを四半期別にみると、1～3月期は164.9（対前期比65.9%増）、4～6月期は136.1（同28.8%減）、7～9月期は108.3（同27.8%減）、10～12月期は90.7（同17.6%減）と3期連続減少した。

### 13. 鉱業

5年の県内鉱業の生産指数は99.3で、対前年比11.3%と増加した。これは、石灰石等が増加したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期は93.0（対前期比13.4%増）、4～6月期は93.0（同増減なし）、7～9月期は99.2（同6.2%増）と3期連続増加し、10～12月期は97.2（同2.0%減）と減少した。

一方、在庫指数の年平均は127.5で、対前年比32.4%と増加した。これを四半期別にみると、1～3月期は99.1（対前期比4.7%増）、4～6月期は109.3（同10.2%増）、7～9月期は124.4（同15.1%増）、10～12月期は135.1（同8.2%増）と4期連続増加した。

#### 14. 公益事業（参考）

5年の県内公益事業の生産指数は98.4で、対前年比△7.5%と減少した。これは、電力が減少したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期は107.5（対前期比3.4%増）と増加し、4～6月期は106.4（同1.1%減）、7～9月期は101.4（同5.0%減）、10～12月期は94.1（同7.3%減）と3期連続減少した。

